

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療通訳Ⅱ Medical Interpreter II		2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(医療事務以外の学生は事前に担当講師に相談すること)	人体の構造と機能及び疾病の履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
基礎英会話、初級英会話、接客英語、TOEICワークショップI、TOEICワークショップII				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟 3階	月・火・木・金曜日9～18時(授業時間外)		授業中に指示します
授業の概要				
2017年、来日観光客数は2869万人で、前年度より19.3パーセント増えた。2020年の東京オリンピックの開催やネットの普及により、今後日本を訪れる海外からの観光客や、日本で生活する外国人の数が増加傾向にあると言われている。健康管理のため、または不測の体調不良で病院を訪れたものの日本語を話せない人である場合、その来院者に安心かつ安全な医療サービスを提供するのは医療通訳士である。本講義では医療通訳Ⅰを履修した学生が、現場で求められる医療通訳としての英語力を養成する。				
授業の目標				
①医療通訳士として必要な基本的な知識を現場で正しく用いることができるようにする。 ②医療通訳士として身に付けるべき倫理観を理解し、業務に活かすことができるようにする。 ③医療通訳として、現場で求められる専門用語や表現を適切に使えるようにする。				
授業の方法				
授業はテキストを基に医療通訳士として働くために必要な知識を学習する講義形式の授業と、英会話テキストを基にロールプレイング形式の練習によって実践の場で通用する英会話運用能力を錬成する授業を併せて実施する。				
学習の成果(学習成果)				
①医療通訳士として必要な基本的な知識を現場で正しく用い、医療現場に貢献することができる。 ②医療通訳士として身に付けるべき倫理観を理解し、医療通訳士として患者に安心を与え公平な立場で振る舞うことができるだけでなく、国際人としてふさわしいマナーで業務に従事できる。 ③医療通訳として、英語力と日本語を的確に使い分け、状況判断を的確に行い、医療現場の適切な治療や検査に貢献できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	医療通訳英会話：Lesson 4 呼吸器科(インプットクラス)			
第3回目	医療通訳英会話：Lesson 4 呼吸器科(アウトプットクラス)			
第4回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 4 呼吸器科(胸背部の診察)			
第5回目	医療通訳英会話：Lesson 5 消化器科(インプットクラス)			
第6回目	医療通訳英会話：Lesson 5 消化器科(アウトプットクラス)			
第7回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 5 消化器科(胸部の診察/内視鏡検査)			
第8回目	医療通訳英会話：Lesson 6 代謝・内分泌(インプットクラス)			
第9回目	医療通訳英会話：Lesson 6 代謝・内分泌(アウトプットクラス)			
第10回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 6 代謝・内分泌(Urine Test and Blood Test)			
第11回目	医療通訳英会話：Lesson 7 救急(インプットクラス)			
第12回目	医療通訳英会話：Lesson 7 救急(アウトプットクラス)			

第13回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 7 救急（X線検査とCT・MRI検査）	
第14回目	医療通訳英会話：Lesson 8 泌尿器科（インプットクラス）	
第15回目	医療通訳英会話：Lesson 8 泌尿器科（アウトプットクラス）	
第16回目	ガイダンス	
第17回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 8 泌尿器科（超音波検査）	
第18回目	医療通訳英会話：Lesson 9 乳腺外科（インプットクラス）	
第19回目	医療通訳英会話：Lesson 9 乳腺外科（アウトプットクラス）	
第20回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 9 乳腺外科（手術の説明）	
第21回目	医療通訳英会話：Lesson 10 脳神経科（インプットクラス）	
第22回目	医療通訳英会話：Lesson 10 脳神経科（アウトプットクラス）	
第23回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 10 脳神経科（入院）	
第24回目	医療通訳英会話：Lesson 11 心療内科・精神科（インプットクラス）	
第25回目	医療通訳英会話：Lesson 11 心療内科・精神科（アウトプットクラス）	
第26回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 11 心療内科・精神科（薬剤投与）	
第27回目	医療通訳英会話：Lesson 12 皮膚科（インプットクラス）	
第28回目	医療通訳英会話：Lesson 12 皮膚科（アウトプットクラス）	
第29回目	医療通訳講義・英会話：Lesson 12 皮膚科（アレルギー歴）	
第30回目	まとめと総括	
事前・事後学習	クラスで出された課題に取り組み、小テストのために復習をすること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	出題者の意図に合致したものとなっている。また詳細に課題を採求し、論旨も明快で、内容構成も堅実であり、授業内容の範囲を超える本人の執筆努力が伺えるものとなっている。
調査報告書		
小テスト	20%	出題範囲を復習し、医療通訳士として活躍するための基礎知識が見に付いたことが成績に反映されている。
試験	30%	中間試験、期末試験を実施する。試験範囲、出題と実施方法は事前に詳しく説明がある。
発表内容（態度含む）	30%	専門用語の下調べ、発音記号を自主的に調べ記入するなど、授業を理解するために自主的に積極的なノートテイキングを行っているか評価する。英会話を1週間かけて暗記し、授業でロールプレイングを錬成できる。
その他		
教科書と参考図書		
「医療通訳学習テキスト」（創英社／三省堂出版）2017年 「そのまま使える医療英会話」（医学書院）2014年		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（職種：医療通訳士、職歴：通算2年） 授業中の私語を慎むこと。積み重ね学習に意欲をもって取り組むこと。英会話のアウトプットクラスの日程を把握して授業に臨むこと。		